神和台自治会ニュース　発行責任者：正岡哲幸　編集責任者：平尾進一

神和台

59・8・5
第15号

神和台 盆おどり

神和台の大きな、大きな夏の行事、そうです恒例の〝盆おどり〟が今年も暑さをふっ飛ばそうと、自治会・老人会・子供会が一丸となり、関係各位の協賛の基、星空を背景に花火など各種の趣向を凝らして企画しております。夏の夜の一時を、おどりに夜店に大いに楽しく過そうではありませんか。住民相互の親睦を図るため、当日は、あなたが主役なのです。

それでは会場の北公園でお会いしましょう。当日は防災部によります団地内のパトロールが行われますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

夜店の配置図（北公園）

☆盆踊り予定表

○開催日　8月18日(土)　北公園
○※雨天の場合は19日(日)
　19日も雨天時は中止
○行　事
・盆踊り練習日
　別途連絡致します。
・子供のど自慢大会　17・30～
・盆踊り　18・30～22・30
・夜　店　18・00～22・00
○夜　店
・ヨーヨー釣り　50円
・輪なげ　50円
・お菓子当て　100円
・ジュース　50円
・コーヒー　50円
・ビール　150円
・おつまみ　50円

神和台に緑がかえった

この三カ月の間に相当な緑がかえってきた。三月下旬には公園に〝楠の高木が八本、つつじが一五〇本、また、かねてより積水ハウスに要望していた一つですが、緑道に枯れた楠一四本の全部を植え替えて除草もしていただいた。

作業中の専門家に聞きますと、ここでは水の不足によって枯れているとの言でした。大切にしたい。これで枯らしては自治会の姿勢にもなります。

神和台クラブの皆さんも、なんとか神和台の目線を大きくしたい一念で〝緑を大切に〟と頑張っておられる。感謝の一言しかありません。勿論、自治会も努力しております。どうか立派になるまで見守っていきましょう。

公団が開発した神和台西側の広大な斜面に植栽した高木、低木、数えて当たれば賞を与えたいほどの本数、管理は公団がしますが、大きくなることを楽しみにどうぞご一見を！

幸いに梅雨で天より水を与えていただき、恵みにも合掌します。

神和台の環境美化
ご協力に感謝します。

神和台が美しくなったことは、とっても気持ちがいい。

自治会の事業の一つですが、環境部が企画し、街区・緑道・公園・外周道路の美化活動が実行され、ご協力をいただきましたこと心から感謝いたします。

除草されたその量・土砂の量にはまた感心もしました。

年に二度実施するのがよいという声を多くいただいたのは、またうれしい限りです。

元気が出ます。次回もご賛意いただきますようお願いします。多数の参加を必要としますので都合をつけてご出席してくださいませ。

5月役員会報告

○昭和59年度予算の再確認
○会則の改正案文について審議、改正文を決定
○昭和59年度・各専門部の事業の推進を確認
○自治会内の環境美化実行案確認
○新入居者説明会報告

6月役員会報告

○自治会内・街区・緑道・外周の除草並びに溝の掃除について
○集会所玄関前に庭石を置くことを決定、管理部が実施へ
○5月25日以来、須磨・垂水区における連続放火事件につき、警察・消防・消防団・自治会が一体となり、臨時防災体制をとり、防災部による自治会内パトロール実施

7月役員会報告

○盆おどり実施案の決定。

花火事故防止

楽しい花火遊びのシーズンがやってきました。みなさんのご家庭でも、夕涼みのひとときに、花火で楽しく過ごされることがあると思います。

ところが、楽しいはずの花火遊びも使い方を誤るとやけどをしたり、火災を起こしたりしています。

花火による事故をなくすため、次のことに注意しましょう。

☆花火遊びをするときは、遊び方をよく確かめましょう。
☆打上げ花火は、人や家の方に向けないようにしましょう。
☆打上げ花火の火が途中で消えても、筒先を絶対にのぞかせないようにしましょう。
☆たくさんの花火に、一度に火をつけないようにしましょう。
☆花火の火薬をほぐして容器に詰めるなど、危険なことをしないようにしましょう。
☆風の強い日や空気が乾燥しているときは、火災の危険が高いので花火遊びをひかえさせましょう。
☆花火遊びをするときは、消火用の水を用意しておきましょう。
☆燃えやすいものの近くでは、花火遊びをさせないようにしましょう。
☆こどもが花火遊びをするときは、必ず保護者が付き添いましょう。
☆花火遊びをするときは、できるだけ化繊の衣服等は着させないようにしましょう。

水難事故防止

海水浴シーズン・海やプールはチビッ子で溢れ、水しぶきの中でどの顔も生き生きしています。

しかし、その半面、毎年、ちょっとした不注意から悲しい事故が発生しています。こどもを水の事故から守るため、次のことに注意しましょう。

○　こどもが水泳（水遊び）するときは必ず保護者が付き添い、こどもから目を離さないようにしましょう。

◎　深いところや岩場の多いところなど危険な場所では、絶対に泳がせないようにしましょう。

○　泳ぐ前に、必ず十分な準備体操をさせましょう。

○　天気が悪いときや体調が思わしくないときは、水泳（水遊び）はひかえさせましょう。

○　万一の場合に備えて、人工呼吸の方法を身につけておきましょう。

こんなときは一一〇番を

私たちのまわりで、強盗やドロボウ、ち漢などの事件が発生し、犯人が捕まらないのは不安なものです。

一一〇番は、このような事件や事故が発生し、または発生しようとしているとき、すこしでも早く警察に知らせるための緊急電話です。

被害者や負傷者を早く救助し、また、犯人が早く捕まってみんなが安心して生活できるよう、一一〇番を効果的に利用しましょう。

◎　**一一〇番は早く**

事件や事故を見たり、聞いたりしたとき、不審者を発見したときは、すぐに一一〇番をしましょう。

一一〇番が早ければ早いほど、犯人を早く検挙したり、被害者を早く救助することにつながります。

◎　**一一〇番は要領よく**

パトロールカーや警察官を、早く現場に到着させるために、一一〇番をするときは、最初に「どこで」「何が」の二つを言いましょう。

後は、警察官の質問に落ち着いて要領よく答えましょう。

次の要領で一一〇番するとよくわかります。

▽　何があったか
（強盗、ドロボウ、げんか、交通事故など）

▽　どこであったか
（○○町△△丁目××銀行を西へ五〇メートル入った魚屋の前などわかりやすい目標物を知らせる）

▽　いつあったか
（○○分ぐらい前です）

▽　犯人は
（○○歳ぐらい、会社員風、白シャツ、黒ズボンなど）

▽　逃走手段・方法は
（歩いて○○駅の方へ、自転車で東の方へなど）

▽あなたは
（住所、氏名、電話番号）

○　いたずら一一〇番や急がない用件での一一〇番はやめましょう。

一一〇番は、寸刻を争う事件事故を通報する専用電話です。

☆　道路情報の照会や運転免許申請手続きなどの照会、問い合わせ等、急がない用件は、加入電話を利用して直接警察署へお尋ねください。

夏の交通事故防止運動

夏は、暑さによる心身の疲労に加えて、海水浴、キャンプなどのレジャーや帰省でマイカーの利用が増え、例年交通事故が増加しています。

兵庫県では、県・市・町や関係機関、団体が一体となって、県民運動として次のとおり「夏の交通事故防止運動」が行われています。

◎期　間

昭和五十九年七月二十一日㈯から八月三十一日㈮まで

◎スローガン

安全のマナーが光る兵庫の道

◎活動重点

○　シートベルト及びヘルメット着用の推進

○　こどもと高齢者の事故防止

○　スピードの出しすぎなど無謀運転の追放

交通事故を防ぐため、次のことを守りましょう。

◎運転者のみなさんへ

○　運転者も同乗者も必ずシートベルトを着用しましょう。

○　寝不足や疲れているときには、運転をやめましょう。

○　車の点検整備（とくに冷却水の点検）を確実にしましょう。

○　公園付近や路地を通行するときはこどものとび出しに注意しましょう。

○　長距離を運転するときは、とくに次のことに注意しましょう。

・　体調を整えておく

・　道路・交通情報を入手し、走行経路をよく調べておく

・　運転前点検は確実にしておく

・　走行中疲れを感じたら、休みを小刻みに、回数を多くとる

・　ドライブの終わりごろに事故を起こしやすいので十分注意する

◎二輪車を運転するみなさんへ

○　必ずヘルメットをかぶって運転しましょう。

○　進路変更の合図は早めにし、後方の安全を確かめてから進行しましょう。

○　原動機付自転車を運転するときは法定速度（三十キロメートル毎時）を守りましょう。

○　原動機付自転車の二人乗りはやめましょう。

○　交差点では、特に右・左折する車に注意しましょう。

◎自転車利用のみなさんへ

○　道路での自転車遊びはやめましょう。

○　二人乗りはやめましょう。

○　道路左端を一列で通行しましょう。

○　交差点では、必ず一時停止して左右の安全を確かめましょう。

○　夜間の交通事故を防ぐため、反射板や反射テープを貼っておきましょう。

◎保護者のみなさんへ

○　こどもには、正しい道路の横断方法を教えましょう。

○　こどもや高齢者が外出するときは、行先を聞き、ひと声注意をしましょう。

お月見

現在では九月の満月の日を〝中秋の名月〟として月見をするようになっていますが、陰暦のころは八月十五日の月をそう呼んでいました。供え物は、江戸時代に芋名月といって、すすきや米の粉でつくった団子・芋などを供えたなごりが伝えられたものです。

ビールをおいしく飲むコツ

・新鮮なうちに飲む

ビールは、新しければ新しいほどおいしい味や香りを楽しめ、いくら、光のあたらない涼しい所に静かに置いても、長く保存すると風味は変わります。

・適温に冷やす

なまぬるいビールはさわやかなのどごしが味わえず、舌先に苦味が残りますし逆に冷え過ぎても味がわからなくなる上に、泡も立ちにくくなります。人それぞれの好みもあっていちがいに決めつけられませんが、おおよそのメドは夏なら6～8度C、冬は10～12度Cといわれています。

・キメ細かな泡をつくる

きれいに立った泡は見て美しくうまさをそそるだけでなく、ビールが空気とふれあって味が落ちるのを防ぎます。上手に泡をつくるには、初めはゆるやかに、しだいに勢いよく、きれいに泡ができ始めたらその泡を持ち上げるように静かにつぐのがコツです。つぎ足しがいけないというのは、炭酸ガスの抜けたビールに新鮮なビールを混ぜることになり、味を落とすからなのです。